

キラメックス株式会社 会社説明資料

(2020年5月25日現在)

- キラメックス株式会社について(p2~)
 - 会社概要
 - 私たちの想い
 - 役員紹介
 - 事業内容
 - 沿革
- 市場について(p10~)
- 事業紹介(p17~)
 - 事業紹介①「TechAcademy」について
 - 事業紹介②「TechAcademy キャリア」について
 - 事業紹介③「TechAcademy ジュニア」について
 - 事業紹介④「TechAcademy IT研修」について

キラメックス株式会社について



会社概要

KIRAMEX

会社名 キラメックス株式会社

代表者 代表取締役社長 樋口隆広

所在地 東京都渋谷区渋谷1-17-4 PMO渋谷8F

事業内容 プログラミング教育事業

許可番号 有料職業紹介事業許可番号 「13-ユ-307458」

設立 2009年2月2日

資本金 4,800万円（資本準備金を含む）

親会社 ユナイテッド株式会社（東京証券取引所マザーズ市場）

子供向けのコンピューター教育支援

「一般社団法人みんなのコード」協力



みんなのコード

「ArtecRobo」シリーズの株式会社アーテック業務提携



大人向けのITスキルリカレント教育支援



経営理念

キラメキを最大化する

キラメキとは？
それは『自己実現からの幸せ』

インターネットというテクノロジーを使ってそのキラメキを増やす。

自己実現の数を増やすことで、必ずこの世の中が豊かになると信じています。

Why
ミッション

世の中の自己実現の最大化

What
ビジョン

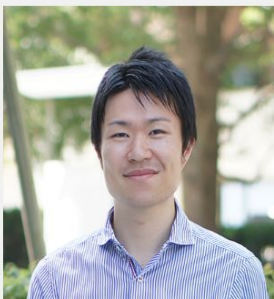
次世代の教育の
リーディングカンパニー



代表取締役社長

樋口 隆広 Takahiro Higuchi 

1990年生、新潟県上越市出身。2012年4月、株式会社スパイア（現ユナイテッド株式会社）に入社。インターネット広告代理事業に従事。その後、2016年10月より同社新規事業開発室にて新規事業開発を担当。2016年4月よりグループ会社であるキラメックス株式会社に参画し、経営企画室に従事。2018年6月、代表取締役社長に就任。



取締役

伏田 雅輝 Masaki Fuseda  

1986年生、東京都出身。2009年4月、楽天株式会社に入社。楽天市場事業のマーケティング部に所属し、リスティング広告を担当。2010年9月、キラメックス株式会社入社。ウェブ広告、コンテンツマーケティング、ソーシャルメディアなどのマーケティング全般を担当。2018年6月、取締役に就任。

①TechAcademy

プログラミングやアプリ開発を学べるオンラインスクール。



②TechAcademyキャリア

TechAcademy受講生限定の転職サービス。



③TechAcademyジュニア

小・中・高校生対象のプログラミング教室。全国にフランチャイズ展開。



④TechAcademy IT研修

法人向けIT研修支援サービス。

- ＞2009年2月 創業
- ＞2010年5月 プレミアムチケットサイト「KAUPON(カウポン)」開始
- ＞2012年9月 「TechAcademy(テックアカデミー)」を開始
- ＞2012年10月 IT教育の情報メディアサイト「EdTech(エドテック)」を開始
- ＞2013年8月 「KAUPON」に関わる事業を株式会社サイブリッジへ事業譲渡
- ＞2016年2月 ユナイテッド株式会社によるキラメックス株式会社の完全子会社化
- ＞2017年7月 受講生限定の転職サービス「TechAcademyキャリア」を開始
- ＞2018年4月 小中学生向けプログラミング教室のフランチャイズパッケージ「TechAcademyキッズ」開始
- ＞2018年6月 代表取締役等の異動

市場について



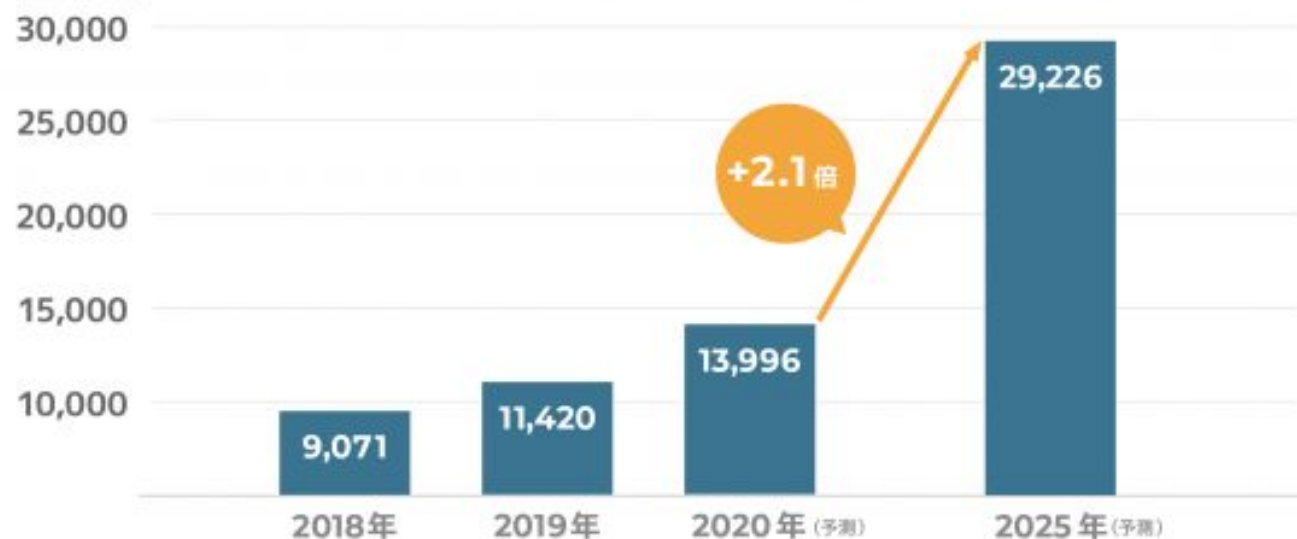
◆子ども向けプログラミング教育市場は5年後、292億円まで拡大する予測

- ・2020年の子ども向けプログラミング教育市場規模は拡大し、2019年比123%の139億9,600万円となる予測。
- ・2025年には2020年の2倍超の292億2,600万円となる予測。

子ども向けプログラミング教育市場規模調査

コエテコ × 船井総研調べ

単位：百万円



2018年、2019年の数値に関しては、下記の調査結果より引用しています。
・2018年4月23日発表「2018年子ども向けプログラミング教育市場調査」
・2019年4月19日発表「2019年子ども向けプログラミング教育市場調査」

コエテコ by GMO

※2020年3月25日発表「2020年 子ども向けプログラミング教育市場調査」より

◆今後の動き

1) 対象年齢の拡充

現状は、**2020年のプログラミング教育の必修化**に伴い小学生に向けた教室の展開が多いが、**今後は中高生向け**により高度で実践的なカリキュラムを学べる教室や、就学前の子ども向けにより初歩的な内容を教える教室が増える。

2) 低価格なプログラミング教室の増加

近年では低価格かつ高品質なプログラミング教室も増えており、この流れがさらに加速していけば、裾野の広がりとともに受講者数も増加する。

3) 女児の参加率の上昇

プログラミング教室に通う子どもの男女比は8:2。しかし、今後は受験対策や就職のために、**プログラミング教室に通う女児の数も増える**ことが予想される。

4) プログラミング教育の価値の市場への浸透

2020年より小学校でのプログラミング教育が必修化することを受け、プログラミング教育に対する関心が日々高まり、今後のさらなる市場拡大が予想される。

◆IT人材の需要に対し、年々人材不足が拡大傾向に

・2030年には最低10万人を超えるIT人材が人手不足になることが想定される。

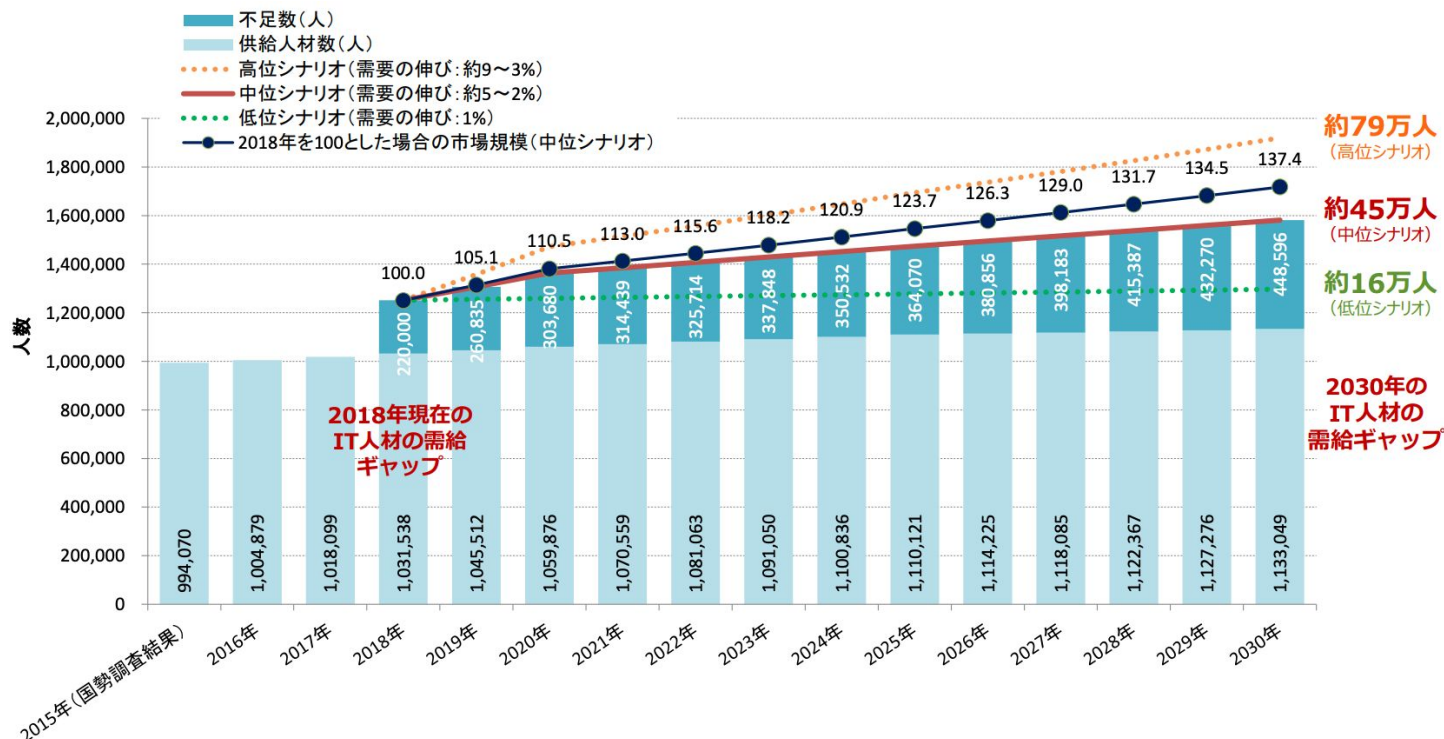


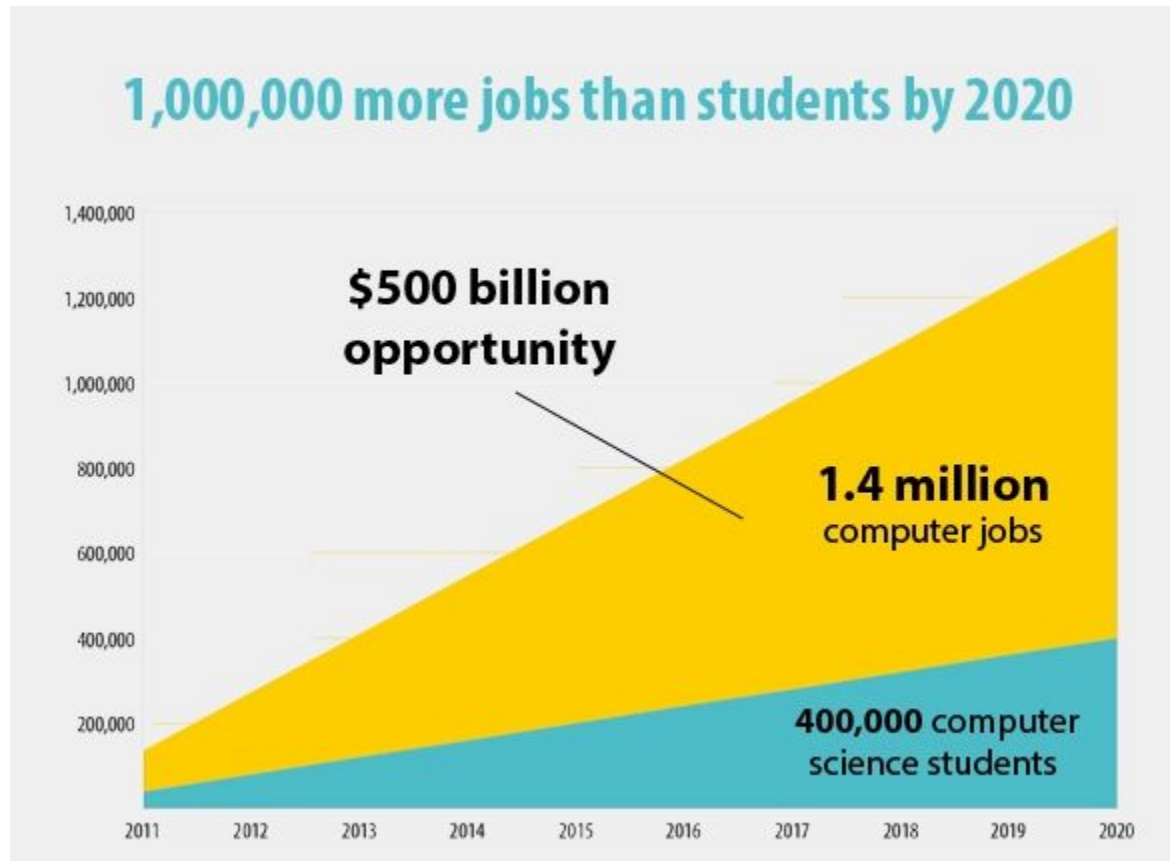
図 3-11 IT 人材需給に関する主な試算結果①②③の対比

(生産性上昇率 0.7%、IT 需要の伸び「低位」「中位」「高位」)

(出所) 2015 年は総務省「平成 27 年国勢調査」によるもの、
2016 年以降は試算結果をもとにみずほ情報総研作成

◆国内だけでなく海外も人手不足に

アメリカでも2020年に40万人もの人材が不足すると想定されている。



<http://www.itmedia.co.jp/news/articles/1302/27/news029.html>

◆IT人材は今後も必要となるが、求められるスキルに適応していく必要がある

・IT技術の進展で、求められるスキル等も急速に変化するため従来型IT人材は2030年に10万人余る。

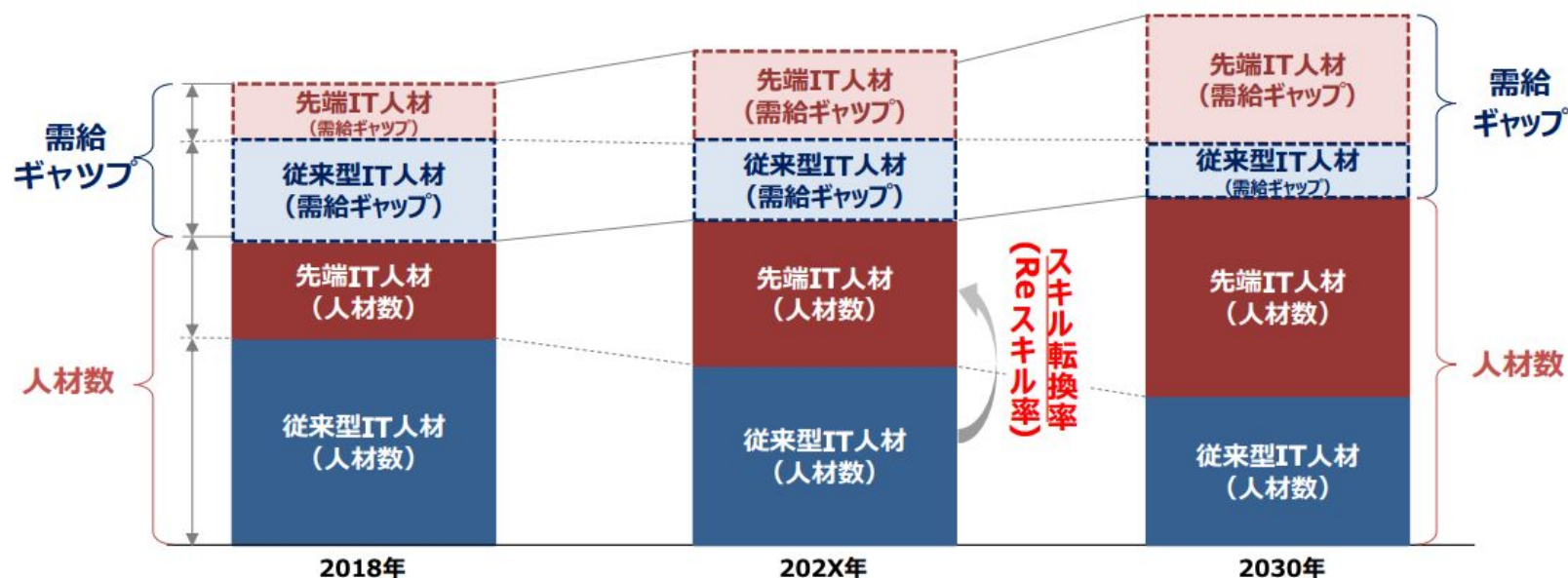


図 3-19 先端 IT 人材・従来型 IT 人材の需給の試算イメージ

(出所) みずほ情報総研作成

◆デジタルイノベーションに求められる人材確保と育成へ(ITR)

- ・人や組織を動かしながら全体を統括する「プロデューサー」、技術的な目利き力と実践力を持った「デベロッパー」、そしてアイデアを生み出し、モデル化する「デザイナー」の3つのタイプの人材が必要。
- ・IT部門は、**今後3～5年で従来型IT人材とイノベーション人材の比率をどの程度にしていくのかの方針を定め、目標を持って人材育成に臨む**ことが求められる。

図2. IT部門人材がイノベーションに適合する点と不足する点

	適合する点	不足する点
プロデューサー (統括)	<ul style="list-style-type: none">・ IT関連のプロジェクト管理やベンダー管理の経験とノウハウ・ 全社的なIT運営で実践した部門間の調整能力	<ul style="list-style-type: none">・ 不確定要素の多いイノベーション案件でのアジャイル的な運営・ ITにとどまらず、幅広くビジネス環境に目を向ける視野
デベロッパー (技術)	<ul style="list-style-type: none">・ IT技術の目利き役を果たしてきた経験・ IT技術に対する基本的知識に基づくアーキテクチャ指向と運用視点	<ul style="list-style-type: none">・ ベンダーに依存してきた場合のシステム開発・実装スキル・ アジャイル開発、PaaS、API活用など新規手法を取り入れる姿勢
デザイナー (企画)	<ul style="list-style-type: none">・ 論理思考やモデリングなどの構造表現のスキル・ 従来の問題解決型の業務分析・課題分析のスキル	<ul style="list-style-type: none">・ 要求・要件が明確でない状況での着想や企画構築スキル・ デザイン思考や未来視点で仮説を設定するスキル

出典:ITR

事業紹介① 「TechAcademy」について



◆国内最大級のプログラミングやアプリ開発を学べるオンラインスクール

全国30,000人以上が受講。800名以上のメンターが登録。(2020年3月現在)



＞2012年 11月

IT人材の育成のためプログラミングスクール事業「TechAcademy」を
東京恵比寿の教室で開始。

＞2015年 5月

現役エンジニアのパーソナルメンターがつく短期集中型学習プログラム
「TechAcademy オンラインブートキャンプ」としてオンラインに特化。

＞2017年

第13回 日本e-Learning大賞 プログラミング教育特別部門賞 受賞。

＞2020年

全国で30,000名以上の受講生を獲得、600社以上の企業が研修で導入



◆特徴1:オンラインに特化

◆特徴2:受講生の挫折を防ぐ「パーソナルメンター制度」

◆特徴3:わからないことを質問できる「チャットサポート」



e-ラーニング大賞
受賞



受講者数
30,000名以上



導入企業
600社以上

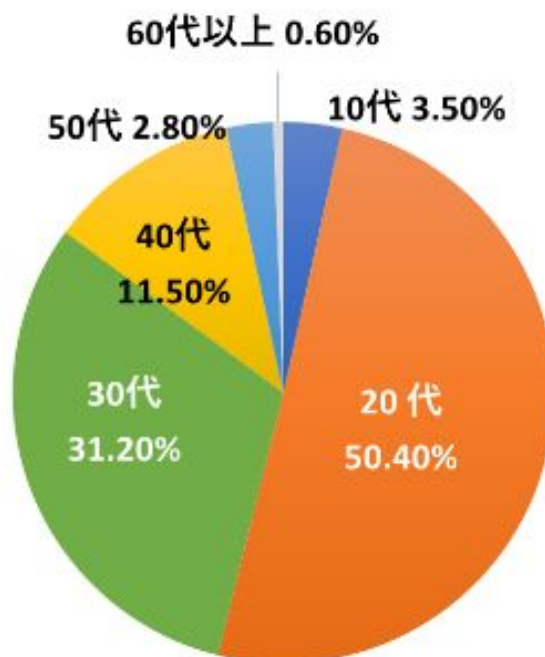
特徴1:オンラインに特化

◆全国どこにいても受講できる

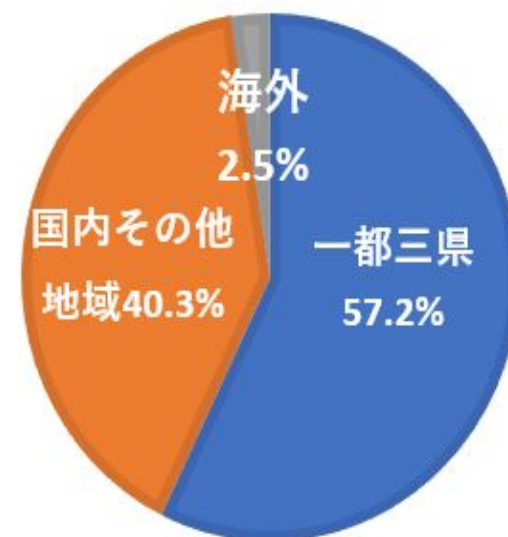
- ・オンライン学習プログラムのため、性別・年代問わず多くの方が受講しやすい環境。
- ・都心エリアだけでなく、地方エリアでも受講が可能。
- ・早朝～深夜の好きな時間に学習できるため、様々な学習スタイルに適応。



男性が半数以上



20～30代が8割以上



都心を中心に全国各地で受講

◆第一線で活躍する現役エンジニアがサポート

- ・受講生のサポートやコーチングをするエンジニアのこと。
- ・国内外で活躍する優秀な **現役エンジニアが約800名以上** 在籍。(16-58歳)
- ・専任のメンターが週2回でメンタリングを行うため、モチベーションアップに繋がる。



◆チャットで疑問点をリアルタイムに解消

- ・学習期間中であれば 15～23時、リアルタイムでメンターが質問や課題に対して回答を行う。
- ・メンターによるサポートで、学習時の「わからない」「続かない」を解消し挫折をなくす。
- ・チャット画面イメージ(Slack)



オンラインブートキャンプ

●プログラミング

Webアプリケーションコース
PHP/Laravelコース
Javaコース
フロントエンドコース
WordPressコース
iPhoneアプリコース
Androidアプリコース
Unityコース
はじめてのプログラミングコース
ブロックチェーンコース
スマートコントラクトコース
Pythonコース
AIコース
データサイエンスコース
Scalaコース
Node.jsコース
Google Apps Scriptコース
はじめてのAIコース
エンジニア転職保証コース

●デザイン

Webデザインコース
UI/UXデザインコース
動画編集コース

●マネジメント

Webディレクションコース
Webマーケティングコース

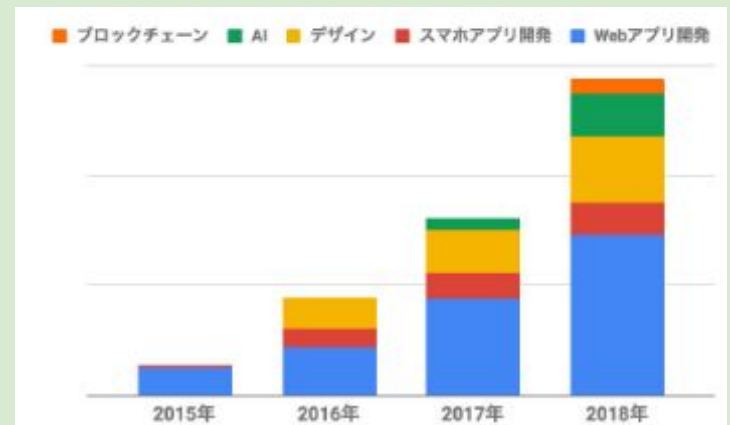
●オフィス

Excel2013コース

トレーニング

HTML/CSSトレーニング
Bootstrapトレーニング
GitHubトレーニング
Photoshopトレーニング

Webアプリケーション開発が人気
AIやブロックチェーンも受講生拡大中



◆非IT人材:エンジニアとのコミュニケーション改善

- ・非ITの現場で、外注先への指示出し・採用・見積チェックなどの業務スキルの必要性が増加

◆非IT人材:エンジニア人材エンジニアへのキャリアチェンジ

- ・未経験者も好待遇で転職可能な市場環境をうけ、他業界/業種からの転身を目指した学び直し
- ・就職活動を念頭に、プログラミングやデザインのスキル獲得・向上

◆エンジニア人材の学び直し

- ・最新のトレンドにあったスキル習得
- ・エンジニアから管理職になり、実務から距離があるため最新開発を体験

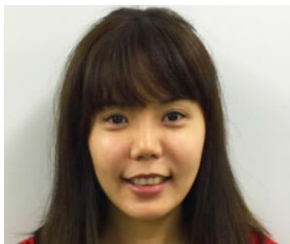
◆趣味・起業で作りたいものの目的が明確な学習

- ・独学で挫折したので、学習手法を改善
- ・自分の思い描くサービスやアプリを開発



未経験からシステム会社に転職

・山本さん(東京): 前職の通販会社でショッピングサイトのシステムに触れる機会が多く、だんだんシステムそのものを作りたくなり、システム会社への転職を決意しました。全くの未経験であったものの、転職活動の面接時、TechAcademyで学んだ内容を話したところ、現職の転職へと繋がりました。



英会話学校講師からWebエンジニアに

・本山さん: 場所にとらわれずに働ける仕事がしたいと思い、エンジニアを目指すようになりました。TechAcademyの受講でオリジナルサイトを作ったことなどをフックに転職活動をして、無事就職できました。



双子ママの悩みからアプリづくりを学ぶ

・本田さん(富山): 大学卒業後、東京のIT企業で法人営業、SEO会社でSEOやWeb全般のサービス、翻訳サービスの営業を担当。結婚後、富山県に在住。夫が焼肉屋を営んでいて、経理など裏方の業務を担当。3人の子育てをしながら受講し、双子のママ向けにオリジナルサービスを開発。

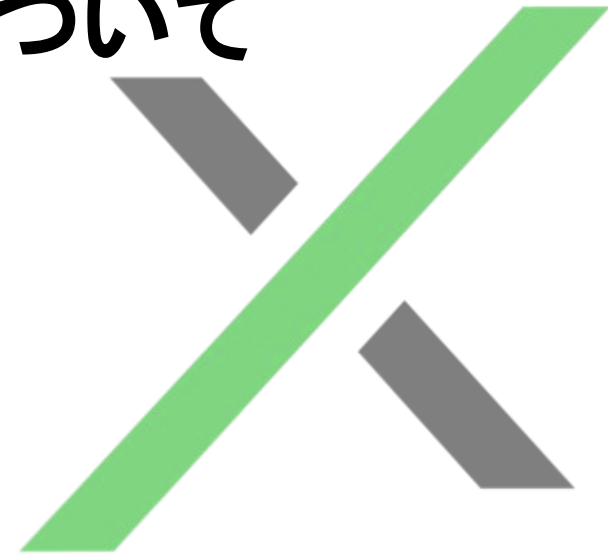


70代以降のリカレント学習、アプリとドローンでセカンドライフを謳歌

・廣部さん(東京): 80代女性。元大学教授。大学退職後、自身の研究分野の貴重な資料だった植物の写真や資料を数多く所有しており、iPhoneアプリを作って無料公開したいと思ったがきっかけで受講。受講中にアプリを2つ作成。そのほか、ドローンなども学び、ITでセカンドライフを楽しむ女性。

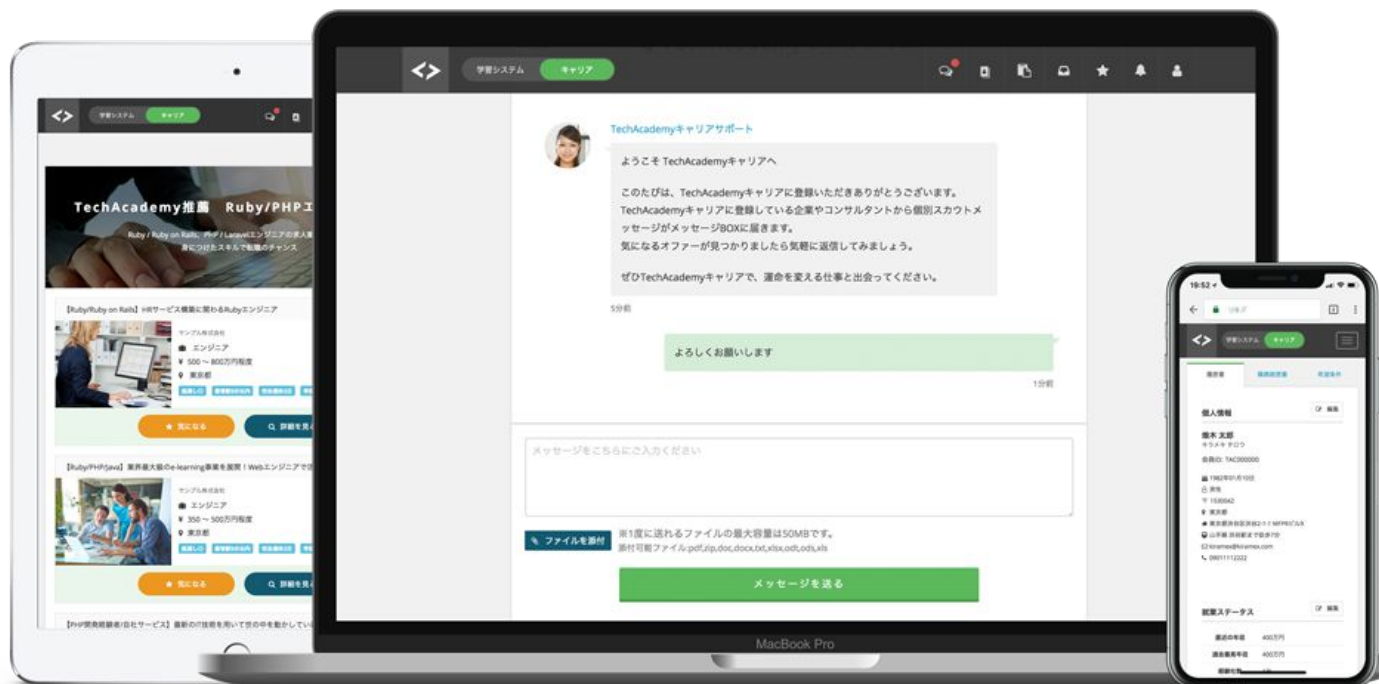
事業紹介②

「TechAcademyキャリア」について



◆TechAcademy受講生限定の転職スカウトサービス

- ・学習と平行して転職活動ができる受講生限定の無料転職スカウトサービス。
- ・一人ひとりのプロフィールやニーズ、学習で身につけたスキルを元に企業がスカウトを展開。
- ・TechAcademyでの学習状況は企業に共有されるため、学習を進めるだけでアピールに直結。



◆エンジニア不足のため採用が難しい

キャリア採用

- ✓ 経験者の中途採用が難しい
 - | 応募がそもそも来ない
 - | 他社との採用競争に負けてしまっている

ポテンシャル採用

- ✓ 新卒採用はしているものの応募が来ない
- ✓ 未経験を採用したいが育成ノウハウがない
- ✓ ポテンシャルの有無を判断するのが難しい

業界自体にエンジニアが不足しており採用競争激化
ポテンシャル採用に切り替えるものの”育成”や”見極め”の観点で苦戦

◆ポテンシャルの高い人材(TechAcademy卒業生)を紹介



TechAcademyの卒業生

エンジニア1～2年レベルの成長意欲の高い、高ポテンシャル人材を紹介可能

◆特徴1:モチベーションが非常に高い

- ・高額な受講料を支払っている覚悟(約30万円)
 - ・未経験からプログラミングの学習を乗り切っている(総学習時間200~300時間)
 - ・年収ダウンを覚悟しながらエンジニアへの転職に踏み切っている
- 「エンジニアになりたい」という強い気持ちと覚悟を持っている

◆特徴2:実践的なスキルを習得している

- ・第一線のプロがメンターとなり、学習のサポートをしているので成長スピードが早い。
- ・**実務に活きるスキル**を習得

【スキル】

言語: Java、SQL
DB: MySQL
AP: Tomcat
開発環境: Eclipse

【開発/制作実績】

- ・問い合わせフォーム
- ・メッセージボード
- ・日報管理システム

【学習内容】

- ・Javaの文法とルール
- ・オブジェクト指向の基礎
- ・MySQLとDBの基本
 - 正規化
 - データのあるべき形
 - テーブル結合
- ・JDBC
 - JavaにおけるDB操作
 - 動的なSQLの作成
 - Hibernate (フレームワーク)
- ・Java Webアプリケーション
 - Servlet
 - JSP
 - JSTL
 - DB連携
 - MVCモデル

事例1



伊藤 佑樹さん

Webアプリケーションコース受講

受講を決めた時からエンジニアを目指し、製造業から未経験でIT企業へ転職

事例2



宮田 佳祐さん

Webアプリケーションコース受講

実務経験ゼロで会計処理からエンジニアへ転身

事例3



木島 恭平さん

TechAcademy Pro受講

スマホゲームのカスタマーサポートからエンジニアに転身

事例4

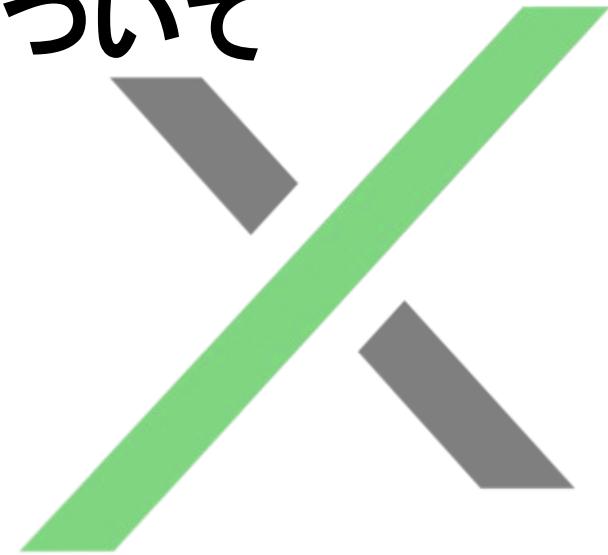


山本 泰士さん

はじめてのプログラミングコース受講

前職からシステムに触れる機会が多く、受講後にシステムエンジニアへ転身

事業紹介③ 「TechAcademyジュニア」について



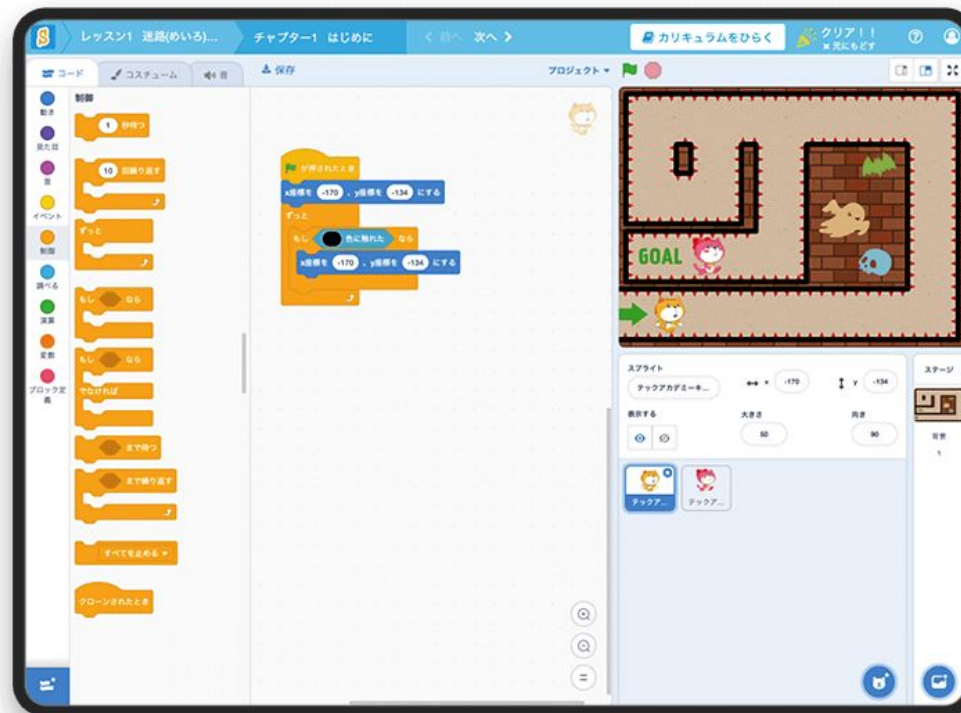
◆フランチャイズ展開する小・中・高校生を対象としたプログラミング教室

- ・子どもが興味を持ちやすいアニメーションやゲーム作りの学習コンテンツ。
- ・TechAcademy全体の豊富なノウハウやインフラを活用。
- ・入門的なプログラミング的思考の醸成から、より本格的なプログラミング技術の取得までの学習環境を提供。
- ・独自開発した学習システムでは、塾や教室で生徒が迷う事なく1つの画面で学習を進めることが可能。



◆Scratchを用いた初級者向けコース展開

- ・ゲームやアニメーションを作り学ぶコース
- ・ブロックの組み合わせによるプログラミングのため、初めての子どもでも安心。
- ・2020年の小学校での必修化でビジュアルプログラミング言語でもScratchが採用。



◆実践的なWebサービス開発が学べる

- ・全世界で数多くのWebサービス開発に使用されているプログラミング言語「Ruby(ルビー)」を使用。
- ・テクノロジーを活用して身近な問題を解決するという体験を得ることが可能。
- ・Webサービス開発を通して、より実践的なスキルを身に付けたい方にオススメ。



◆Pythonを使った初級～中級者向けコース

- ・2019年秋リリース
- ・株式会社アーテックとの共同開発を行い、同社の「ArtecRobo」シリーズのキットを活用。
- ・Scratchによるビジュアルプログラミングや、Pythonの基礎やPythonでのロボット制御など、入門から本格的なプログラミングの活用までのコンテンツを提供。



◆民間教育と公教育の連携による新しい学習機会提供のカタチづくり

- ・2020年4月～開始する小学校でのプログラミング教育必修化を皮切りに、各教育段階におけるプログラミング教育の本格化が進行中。
- ・学校現場において、プログラミング教育の人材不足が予測されている中、学校が自校で専門教育人材の育成や採用を行うことなく、プログラミング学習の機会を生徒に提供できるよう支援。
- ・プログラミングから課題解決する力を養うことで、10年後にも役立つスキル習得の機会提供を目指す。

～取り組み紹介～

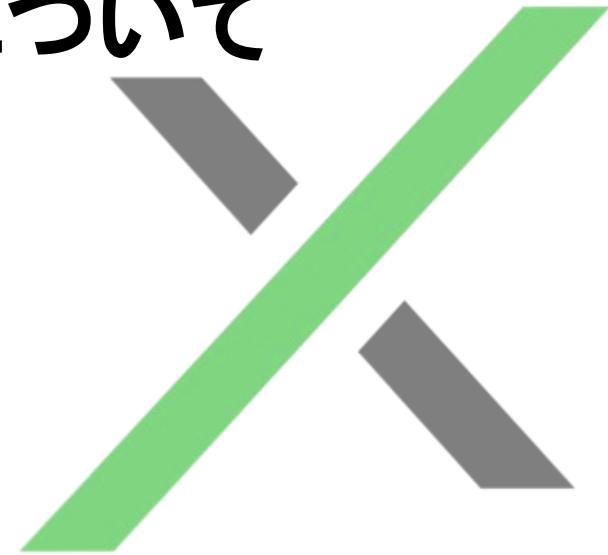
学校法人駒込学園 駒込中学校



静岡県立掛川西高等学校



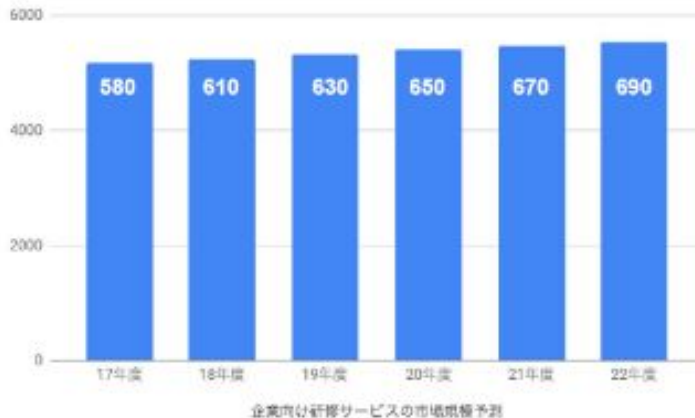
事業紹介④ 「TechAcademy IT研修」について



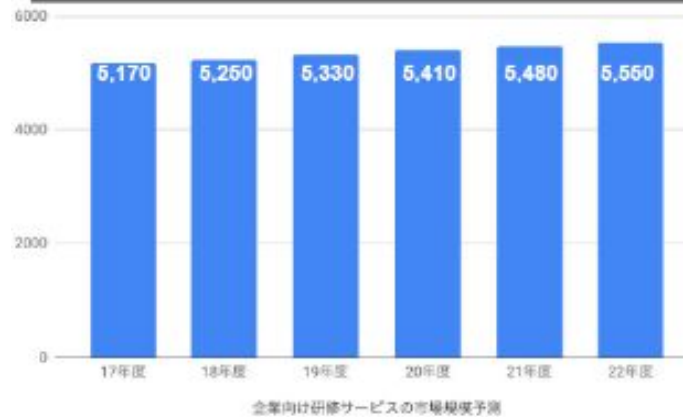
eラーニング市場は堅調に成長

研修サービス市場も市場規模を維持～微増

モバイル／動画の普及が伸びを牽引



市場環境の変化対応のため教育投資が堅調



◆企業研修市場の課題

- ・サービス提供方法のイノベーションが起きにくい随意契約傾向が強いB2Bビジネス
- ・新入社員研修など季節変動が大きく、研修事業者の **提供リソースが限定的**（小規模事業者が多い）
- ・プログラミング習得に相性の悪い **集団学習** のため、学習効果が悪い
- ・コンテンツ開発にも専門人材が必要で、技術革新スピードにコンテンツ提供が遅れている
- ・クライアント企業の **社内も研修専門の人材不在**

◆現場で人材不足が続く中、企業600社以上の教育実績

- ・非IT人材の経営・マネジメント層や、発注担当者などへの入門研修から、新人研修、エンジニアやデザイナーのスキルアップ研修が実施可能。
- ・600社以上の企業が研修で導入。(2020年4月現在)
大手IT企業、有名ベンチャー企業を始め、Sier/SES企業との取り組みが増加中。



◆特徴1: オンラインで完結。自宅でも取り組める

- ・オンライン環境があればいつでも、どこでも学習可能。

◆特徴2: 理解するだけでなく、仕事に生かすことができる研修内容

- ・『**実践**』で生かせる**スキル**を習得・定着
- ・『インプット(仕組み理解)』→『アウトプット(実装)』の反転学習で、学習効率が高まる

◆特徴3: マンツーマンだからこそ短期間で効果大

- ・独学や集合研修では難しい **1人1人の課題の違いに合わせる** ことで、短時間で圧倒的な学習効率を実践
 - 1) 週4回～(1回30分)のマンツーマンメンタリング
 - 2) 毎日15時～23時のチャットサポート
 - 3) 回数無制限の課題レビュー
 - 4) ライフスタイルや就業スタイルとバランスを取りやすい研修期間のバリエーション